

第4回北網保健医療福祉圏域連携推進会議難病対策専門部会（北網圏域難病対策地域協議会）議事録

日時 令和元年11月11日（月）18:00～19:40

場所 北見市総合福祉会館1階 体育室

出席者 30名

議事

1 報告事項

(1) 2019年度の事業内容

- ・令和元年10月18日 パーキンソン病トータルセミナーを開催 53名出席
- ・北海道難病対策協議会に地域課題の「コーディネーター不在」「レスパイト受入れ不足」について協議、把握した内容を報告。

(2) 北海道難病対策協議会の情報提供（医療提供体制について）

- ・北海道庁保健福祉部地域保健課より以下について報告。
- ・平成30年度、北海道難病対策協議会内に難病の専門医等をメンバーとするワーキンググループを立ち上げ「新たな難病医療提供体制の構築について」について検討してきた。難病医療協力病院は各地域にこれから設置予定。難病診療連携拠点病院を北海道医療センターに、難病診療分野別拠点病院として炎症性腸疾患に限って札幌医科大学附属病院消化器内科に選定した。難病診療連携拠点病院には、相談窓口に2名職員を配置した。

2 協議事項

(1) 難病療養者の災害対策について

- ・2018年度に発生したブラックアウト時の状況と今後の課題について報告

【地域課題】

- ① 緊急時の安否確認方法（連絡の一本化）
- ② 病院の受入体制の把握
- ③ 平常時からの準備～本人・家族（自助・共助）、支援者・医療機関（患者教育）
- ④ 災害時個別支援計画の作成
- ⑤ 医療依存度の高い人を対象にした避難訓練
- ⑥ 災害に備えた物品補助制度がない

(2) 地域の医療・サービス事業所の受入れ情報整理について

今後の当専門部会で、この地域に有効な情報管理のあり方や管理方法を検討していく

(3) 当専門部会の活動まとめについて

今年度内に活動報告書を作成する

3 その他

今年度の取り組み予定について

令和2年2月頃に今年度2回目の専門部会を開催する